



ペットの災害対策

～あなたとペットは大丈夫？～

災害はいつ起こるか分かりません。万が一災害が発生し、ペットと一緒に避難するためには、日ごろから準備としつけが必要です。避難所で周りの人に迷惑をかけず、ペットも受け入れられるように以下のような準備をしましょう。

災害に備え準備するもの		飼い方をチェック	
	エサと水（5 日分） 		ワクチンや健康管理の記録はありますか
	ケージとリード		初対面の人にも慣れていますか
	トイレ用品 		トイレは決まった場所でできますか
	ペット・飼主の情報を		避妊去勢手術はしていますか
	記入したカード等		ケージに慣れていますか
			名札（マイクロチップ）はつけていますか



近 隣 の 避 難 場 所

ペットとの同行避難が可能な避難所は、原則、市立小中学校です。
災害時のペットの預かり先を確保しておくことも大切です

- 避難所が受け入れ可能な動物種は、原則、犬・猫・小鳥等の小動物です。
- 避難所では、**ペットと飼主は別の場所で生活します**。離れていても大丈夫なように、しつけをしましょう。
- 上の表の内容をカードにまとめた「きずなカード」を瑞穂保健センターでお渡ししています。ご希望の方は、4 階 5 番窓口へお申し出ください

ペットを飼っていない方へ

皆さんが避難する避難所にも、ペットを連れた方が避難することが予想されます。
非常時で大変な時だからこそ、お互い気づかいましょう。
ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



災害時に困らないための食の備え

被災した場合、すぐには支援物資が届かないことがあります。

7日分の水と買い置きの食品を用意しましょう

主食

アルファ化米、レトルト食品の粥、
インスタントラーメン、缶詰のパン



主菜

・缶詰(魚の蒲焼、焼き鳥、五目煮豆等)
・レトルト食品(カレー、シチュー等)



副菜

・常温保存できる野菜(じゃが芋、玉ねぎ等)
・缶詰(野菜の煮物、コーン等)
・乾物(切干大根、わかめ等)



飲み水

1人1日 3リットル程度

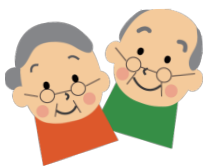


その他

缶詰の果物、菓子、栄養補助食品など

特に配慮が必要な場合

高齢者がいる場合



かみにくい、飲み込みにくいなど気になる場合は、
レトルト食品の粥、やわらかタイプのおかずなど
があると便利です。

乳幼児がいる場合

・ストレスによって母乳が出にくくなったときのために、
育児用ミルク、哺乳瓶、水も多めに用意しましょう。
・生ものや火が十分に通っていないものは避けましょう。



食事制限のある場合

高血圧や糖尿病などで食事療法をされている方は、減塩の調味料、
栄養成分がわかる食品などを用意しておきましょう。

◎食品を欠かさないためのヒント

食品は日頃から少し多めに蓄え、毎日の食事に取り入れると賞味期限切れを防ぎ、新しい食品を利用することができます。

※1個使ったら1個補充し、新しいものは奥へしまいましょう。